



2 「子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまち」

(1) 結婚・出産・子育てが安心してできる環境を目指します

 = 新規事業  = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

若柳地区幼保連携型認定こども園整備事業

7,422万円

(担当：子育て支援課保育サービス係)

若柳地区に認定こども園を整備するため、用地買収を行い、建設予定地の敷地測量、造成設計及び建物などの基本・実施設計を行いました。



認定こども園完成イメージ図

すこやか子育て支援金支給事業

2,007万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

少子化対策及び子育て世代の定住促進を目的に、出生祝金及び入学祝金を支給しました。

支給件数

■出生祝金	第1子	115件
	第2子	106件
	第3子	53件
	第4子	10件
	第5子以降	8件
■入学祝金	第3子以降	104件

小学校入学支援事業

241万円

(担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

子育て家庭における経済的負担の軽減を図るため、市内に住所のある第3子以降の子どもが小学校へ入学する際に購入した学用品等の費用の一部を助成しました。

【制度概要】

助成額：上限額3万円
(子ども1人あたり)

助成件数 83件

母子保健健康診査事業

4,249万円

(担当：健康推進課保健指導係)

健やかな妊娠期を過ごし、安心して出産できるように妊婦一般健康診査14回分、多胎妊娠では20回分の助成を行いました。

また、乳幼児健診は2か月児から3歳児までのお子さんの病気の有無や成長発達の確認・育児の相談を医師等の専門職が行いました。



妊婦一般健康診査	延べ3,	387人
乳児一般健康診査	2か月児	296人
	8か月児	277人



健診を受ける親子

2 「子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまち」

(1) 結婚・出産・子育てが安心してできる環境を目指します

 = 新規事業  = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

任意予防接種事業 4,562万円 (担当：健康推進課健康推進係)

疾病の重症化や蔓延を防ぐため、乳幼児を対象としたロタウイルス、おたふくかぜ、中学生までを対象としたインフルエンザの3種の任意予防接種費用の全額を助成しました。



医療機関での予防接種

助成件数	
インフルエンザ	4,611件
ロタウイルス	278件
おたふくかぜ	328件

子育て応援医療費助成事業 2億3,913万円 (担当：子育て支援課子ども・家庭福祉係)

0歳から18歳までの適正な受診機会の確保と子育て家庭における経済的負担の軽減を図るため、入院及び通院に係る医療費のうち、保険診療分の自己負担額を全額助成しました。

助成件数	
乳幼児分	延べ 49,098件
小中学生分	延べ 58,305件
高校生等分	延べ 17,385件

特別保育事業（一時、延長、病後児） 4,074万円 (担当：子育て支援課保育サービス係)

保護者の多様なニーズに対応するため、特別保育を実施しました。

一時保育

保護者の就労や出産、家族の介護などの理由により一時的に保育できない場合、市内10か所の保育所で、一時的にお子さんを預かる事業を実施しました。

実施延べ件数	
一時保育	延べ 499件
延長保育	延べ 345件
病後児保育	延べ 4件

延長保育

保護者の就労形態の多様化に対応するため、保育所に入所中のお子さんを対象として、午前7時から午前7時30分まで、午後6時30分から午後7時まで、時間を延長して保育を実施しました。

病後児保育



病気や外傷の回復期にあるお子さんを一時的に預かる事業を実施しました。



一時保育の様子

2 「子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまち」

(1) 結婚・出産・子育てが安心してできる環境を目指します

=新規事業 =拡充事業 (事業名の頭に標記)

幼稚園預かり保育事業

1億1,779万円
(担当：学校教育課学務係)

保護者の就労等により、幼稚園の教育時間外に家庭において保育ができない園児を対象に、全ての幼稚園で預かり保育を行いました。また、土曜日保育や延長保育も行いました。



外で活動する園児

放課後健全育成事業 (放課後児童クラブの施設整備)

1億3,292万円
(担当：社会教育課生涯学習係)

児童が安心して過ごせるよう、利用者が増加し教室が不足している築館放課後児童クラブの増築と、他の施設の一部を利用して開所している鶯沢放課後児童クラブを建設しました。



増築した築館放課後児童クラブ



建設した鶯沢放課後児童クラブ

放課後健全育成事業（放課後児童クラブ）

1億6,394万円
(担当：社会教育課生涯学習係)

就労等により昼間保護者が家にいない児童（小学生）を対象に、安心して過ごせる生活や遊びの場を提供し、児童の健全な育成を図るため、市内12か所で放課後児童クラブを実施しました。

【実施期間】

4月1日～3月31日（日曜日、年末年始等を除く）

【実施時間】

平日（登校日）・・・午後1時30分～午後6時30分
土曜日・長期休業日等・・・午前7時30分～午後6時30分



放課後児童クラブでの活動

2 「子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまち」

(2) 次代を担うたくましい子どもを育成します

= 新規事業 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

学校ICT環境推進事業

1億5,738万円

(担当：学校教育課学務係)

タブレット端末を使って、授業の内容が理解できる「分かる授業」を行い、「確かな学力」の育成を図りました。



タブレット端末を使った授業

語学指導を行う外国青年招致事業

3,321万円

(担当：学校教育課指導係)

外国語指導助手(ALT)を市内全中学校に配置をして、英語教育の充実を図りました。

また、市内の小学校においても英語活動の導入と、留学生との交流を通して、英語に触れる教育を行いました。



ALTとの交流

青空大使派遣事業

549万円

(担当：社会教育課生涯学習係)

市内の中学2年生16人を7日間の行程でオーストラリアへ派遣し、現地生徒との交流やホームステイなどを通し、自主性や協調性を育み、異文化に触れ、国際感覚豊かな人材を育成しました。



現地生徒との交流

幼稚園給食費補助制度

1,060万円

(担当：学校教育課学務係)

保護者の経済的負担を軽減するため、幼稚園に同時入園している兄弟姉妹のうち、2人目以降の園児や、所得が一定基準以下となる世帯の園児の給食費を補助しました。



楽しい給食の時間

2 「子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまち」

(2) 次代を担うたくましい子どもを育成します

= 新規事業 = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

全国学力トップクラスの秋田県に学ぶ教員派遣事業

257万円

(担当：学校教育課学務係)

教員の指導力向上と児童生徒の学力向上を目的として、学力向上に成果を上げている秋田県大仙市へ小・中学校の教員を派遣して研修をしました。

また、学力向上に向けて、有識者を招いた授業公開や公開研究等も行いました。



大仙市立学校での授業実践

(3) 人とつながり、支え合い、

互いに高め合う子どもを育てる環境を目指します

子どもの心のケアハウス事業

1,079万円

(担当：学校教育課指導係)

心のケアスーパーバイザーや訪問相談員等を配置し、不登校傾向にある児童生徒への学習支援や自立を目指した相談を行いました。

スクールバス運行事業

6億5,305万円

(担当：学校教育課学務係)

スクールバスを運行し、遠距離通学する園児・児童生徒に対する支援と安全確保を図りました。

学校施設空調設備設置事業

7億2,271万円

(担当：教育総務課教育環境係)

全ての市立小・中学校の普通教室（小学校147教室、中学校68教室）にエアコンを設置し、児童・生徒の健康被害を防止するとともに、学習に集中できる環境を整えました。



エアコンを設置した教室

学校施設トイレ改修事業

7,791万円

(担当：教育総務課教育環境係)

和式トイレの使用に抵抗感を示す児童・生徒が増えていることから、和式トイレを改修して洋式トイレの割合を8割以上に高め、児童・生徒の学校生活環境を改善しました。